



# ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

令和5年2月21日

発行者 校長 池下栄里子

- 思いやりのある子
- たくましい子
- 助け合う子
- よく考える子
- 進んでやる子

## 卒業式の対応について

国は、新型コロナウイルス感染症対策の見直しを行いました。それを受け、教育委員会からのメール配信の通り、今年の卒業式について、その教育的意義を考慮した基本的な方針が出されました。帯広市としての主な改訂内容は次の通りです。

- 児童及び教職員は、式全体を通じてマスクを外すことを基本とすること。ただし、国歌・校歌等の斉唱や合唱、「呼びかけ」は、マスクの着用等、感染症対策を講じること。
- 座席間に触れ合わない程度の距離を確保した上で、在校生の参加については、原則近接の2個学年を最大とする。また、保護者等の参加については、参加人数の制限をしないこと。

上記を受け、本校では、卒業生に対する感謝の気持ちや式の厳粛な雰囲気味わわせるため、近接学年の2個学年（4、5年生）を会場で参加させたいと考えています。

卒業生の保護者の参加については原則制限を行いません。ただ、本校では、在校生を2個学年入れることや会場の広さ、そして感染症に対して不安に思う方もいらっしゃるなどを考慮し、参加人数についてご協力いただく場合もあるかもしれませんが、ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、マスク着脱については今後、学校でも詳細を検討して子どもたちに指導していきます。その時は、感染不安を抱くなどマスクの着用を希望する者に対して強制することのないよう留意します。

子どもたちにとって思い出深い最高の卒業式になるよう教職員一同取り組んで参ります。



## 子どもは笑顔が一番

児童会の取組として、「冬のグラウンドアスレチック」や「遊びデー」が休み時間に行われ、グラウンドや体育館では、子どもたちの笑顔や歓声があふれていました。このような児童会主催の活動も北栄小学校の自慢の一つです。



## エリアファミリーサミット開催

一中エリアの小中学校（一中、栄小、啓北小、北栄小）の児童会長・生徒会長が参加して「一中エリアファミリーサミット」がMeetで行われました。本校からは、児童会長が参加し、あいさつ運動や「遊びデー」などの取組の様子を堂々と報告しました。大変立派でした。



## 安全な登下校に向けて

栗林建設株様、栗建機工株様、東光舗道（株）様、北海道道路保全株様が、地域貢献の一環として、本校周辺の通学路の除雪・焼砂散布を実施してくださいました。特に、校舎北側の道路や交差点の雪山が大変危険でしたが、お陰様で子どもたちが安全に登下校できるようになりました。毎年、ご協力いただき大変ありがとうございます。

